



斑鳩町学校施設長寿命化計画

概要版



令和8年3月

斑鳩町教育委員会

-目次-

第1章	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
第2章	学校施設の目指すべき姿	2
第3章	学校施設の実態	2
第4章	施設整備の基本的な方針等	5
第5章	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	5
第6章	長寿命化の実施計画	6
第7章	長寿命化計画の継続的運用方針	7

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

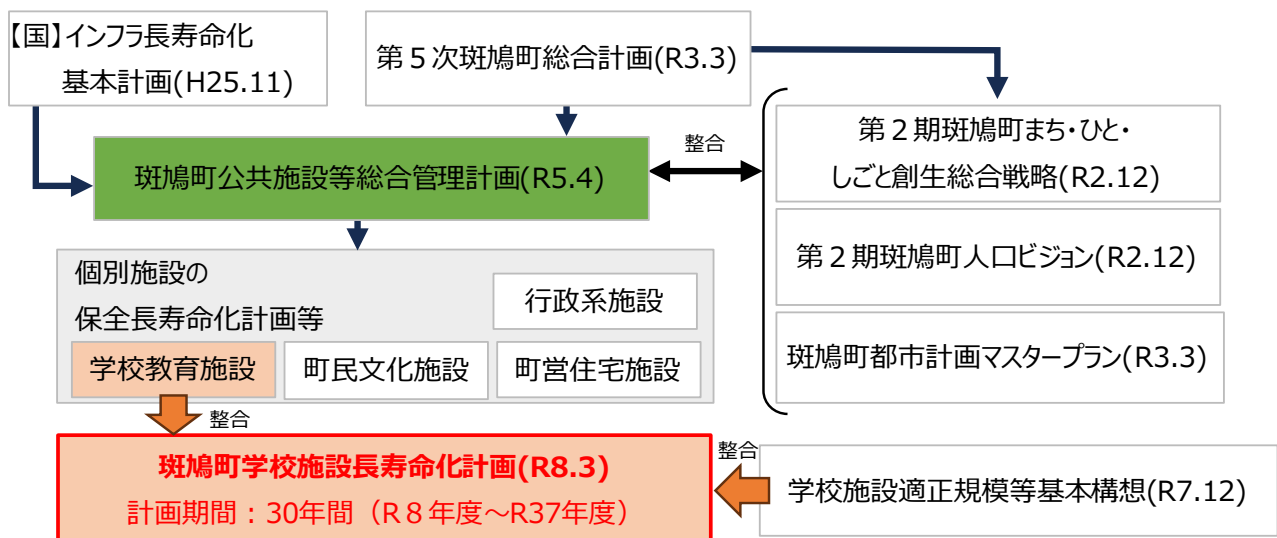
斑鳩町は、昭和22(1947)年に龍田町・法隆寺村・富郷村が統合され誕生しました。昭和30年代後半には、人口の増加とともに、住民生活を支えるさまざまな公共施設の整備を進めてきました。

学校施設は、教育環境の基盤であると同時に、地域コミュニティの拠点や災害時の避難場所としても重要な役割を担っており、昭和40～50年代にかけて集中的に整備されてきました。その結果、町内の学校施設の平均築年数は約50年であり、老朽化の進行により安全性や機能性の低下が課題となっています。さらに、今後は、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、財政制約が一層厳しくなることが見込まれるため、学校施設は、より計画的かつ効率的・効果的に維持管理していく必要があります。

(2) 目的

本計画は、児童・生徒が安心・安全に学べる環境を整えることを目的に、学校施設の現状を把握したうえで、今後の維持保全の方向性を検討し、計画的な改修等を進めることにより、施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図り、効率的かつ持続可能な施設運営を目指します。

(3) 計画の位置付けと計画期間



(4) 計画対象施設

分類	施設名	地区	棟数[棟]	延床面積[m ²]	竣工年度	耐震補強
小学校	斑鳩小学校	法隆寺南	7	9,480	昭和40年度	実施済
	斑鳩西小学校	神南	5	6,396	昭和51年度	実施済
	斑鳩東小学校	法隆寺南	3	7,857	昭和55年度	実施済
中学校	斑鳩中学校	龍田北	6	8,012	昭和45年度	実施済
	斑鳩南中学校	目安北	4	7,732	昭和58年度	新耐震
合計	—	—	25	39,477	—	—

第2章 学校施設の目指すべき姿

本計画では、次の3点を学校施設の基本目標とします。

①安心・安全な学校施設の確保

- 児童・生徒が、安心して施設を利用できる環境を提供するため、老朽化が進む施設の改修を進め、耐久性や防災性を高めることにより、安心・安全の確保に向けた施設整備を目指します。

②学校施設の計画的・効率的な整備の実施

- 少子高齢化の進行による人口減少や扶助費の増加、多くの公共施設が更新時期を迎えることによる改修・更新費の増大が懸念される中、計画的に改修等を進めることで、ライフサイクルコストの縮減と持続可能な教育環境の整備を図るとともに、安定した施設運営を目指します。

③地域とともにある施設

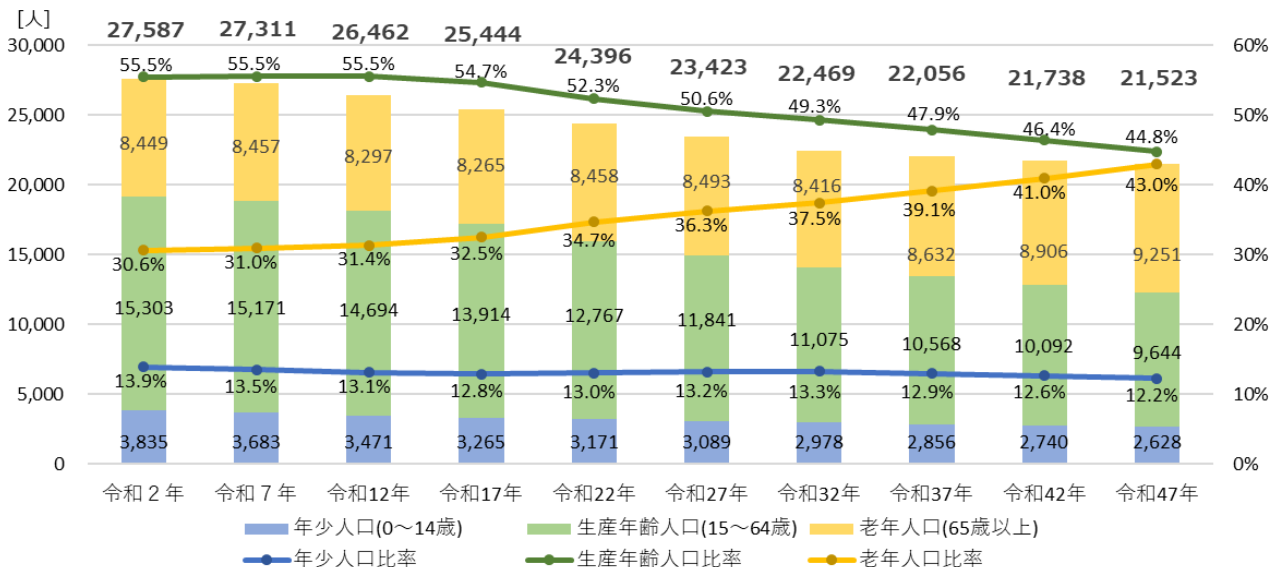
- 学校施設は、児童・生徒の学びの場であり、また、地域の活動拠点の役割も担うことから、放課後の活動や生涯学習の場としてニーズに対応し、地域に根ざした施設整備を目指します。

第3章 学校施設の実態

(1) 町全体の人口の変化

本町の人口は、令和2（2020）年の27,587人から減少傾向にあり、令和47（2065）年には21,523人と6,064人の減少（▲22.0%）と推計されます。年齢階層別では、年少人口比率は13%前後で推移する一方、生産年齢人口比率は減少し、老年人口比率は増加すると推計されます。

	実数値		予測							
	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)	令和37年 (2055)	令和42年 (2060)	令和47年 (2065)
年少人口(0～14歳)	3,835	3,683	3,471	3,265	3,171	3,089	2,978	2,856	2,740	2,628
生産年齢人口(15～64歳)	15,303	15,171	14,694	13,914	12,767	11,841	11,075	10,568	10,092	9,644
老年人口(65歳以上)	8,449	8,457	8,297	8,265	8,458	8,493	8,416	8,632	8,906	9,251
年少人口比率	13.9%	13.5%	13.1%	12.8%	13.0%	13.2%	13.3%	12.9%	12.6%	12.2%
生産年齢人口比率	55.5%	55.5%	55.5%	54.7%	52.3%	50.6%	49.3%	47.9%	46.4%	44.8%
老年人口比率	30.6%	31.0%	31.4%	32.5%	34.7%	36.3%	37.5%	39.1%	41.0%	43.0%
町全体	27,587	27,311	26,462	25,444	24,396	23,423	22,469	22,056	21,738	21,523
令和2年を100とした割合	100%	99.0%	95.9%	92.2%	88.4%	84.9%	81.4%	80.0%	78.8%	78.0%



(2) 児童・生徒数および学級数の変化

本町の児童数は、令和2（2020）年の1,652人から令和47（2065）年には1,132人と520人の減少（▲31.5%）、生徒数は723人から496人と227人の減少（▲31.4%）が見込まれています。学級数についても、小学校・中学校ともに減少傾向にあります。令和47（2065）年においては、いずれの学校も全学年でクラス替えが可能な規模は維持できると推計されます。

●各学校の児童・生徒数

	実績 ←						→ 予測									[人]
	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)	令和37年 (2055)	令和42年 (2060)	令和47年 (2065)		
斑鳩小学校	675	670	655	658	650	657	610	576	558	543	524	503	481	463		
斑鳩西小学校	449	441	422	414	392	387	406	382	371	361	349	334	322	307		
斑鳩東小学校	528	505	494	495	474	482	478	449	436	424	410	395	377	362		
小学校合計	1,652	1,616	1,571	1,567	1,516	1,526	1,494	1,407	1,365	1,328	1,283	1,232	1,180	1,132		
斑鳩中学校	358	379	394	394	405	394	324	305	296	288	278	267	256	245		
斑鳩南中学校	365	378	381	375	374	376	330	311	302	295	283	273	260	251		
中学校合計	723	757	775	769	779	770	654	616	598	583	561	540	516	496		

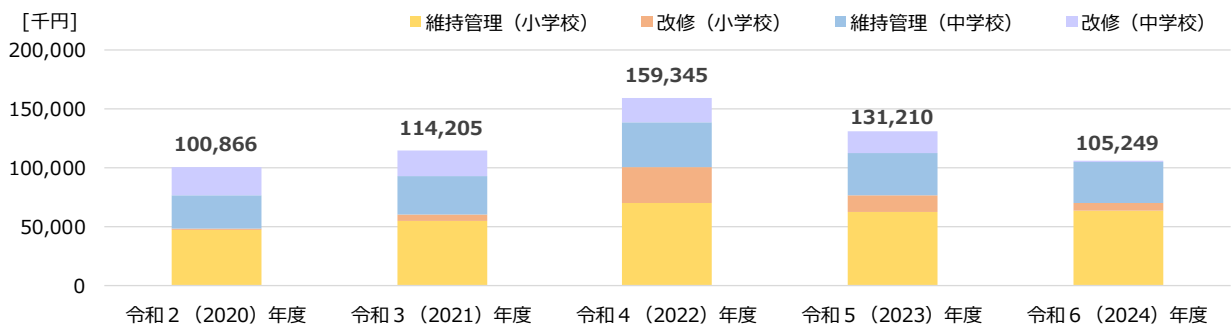
●各学校の学級数

	実績 ←						→ 予測									[学級数]
	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)	令和37年 (2055)	令和42年 (2060)	令和47年 (2065)		
斑鳩小学校	21	22	21	22	23	23	21	20	19	18	18	18	18	18		
斑鳩西小学校	18	15	16	15	15	14	15	13	12	12	12	12	12	12		
斑鳩東小学校	18	18	17	18	18	18	18	17	17	16	15	15	13	13		
小学校合計	57	55	54	55	56	55	54	50	48	46	45	45	43	43		
斑鳩中学校	12	12	12	12	12	11	11	10	9	9	9	9	9	9		
斑鳩南中学校	12	12	12	11	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9		
中学校合計	24	24	24	23	23	22	21	20	19	19	18	18	18	18		

(3) 施設関連経費の推移

過去5年間の施設関連経費は、概ね100,000千円から160,000千円程度で推移しています。維持管理費は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度にかけて、施設の老朽化の進行や物価上昇等の影響により増加傾向にあります。また、施設改修として、小学校・中学校ともにトイレ改修や照明設備のLED化工事などを実施しています。

		[千円]					平均
	種別	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	
小学校	維持管理費	47,053	54,714	69,901	62,199	63,803	59,534
	改修費	638	5,798	30,534	14,799	6,140	11,582
	合計	47,691	60,512	100,435	76,998	69,943	71,116
中学校	維持管理費	28,667	32,494	38,563	35,659	35,248	34,126
	改修費	24,508	21,199	20,347	18,553	58	16,933
	合計	53,175	53,693	58,910	54,212	35,306	51,059
全校	維持管理費	75,720	87,208	108,464	97,858	99,051	93,660
	改修費	25,146	26,997	50,881	33,352	6,198	28,515
	合計	100,866	114,205	159,345	131,210	105,249	122,175



(4) 学校施設の老朽化状況の実態

町内の学校施設について劣化状況調査を実施した結果、いずれの学校においても老朽化が進行しており、適切な対応が求められる状況にあります。

斑鳩小学校では、屋根・屋上や外壁にD判定（早急な対策が必要な状態）が確認されている建物が複数あり、雨漏りによる構造躯体への影響や、爆裂によるコンクリートの落下など、安全性に重大な影響を及ぼすおそれがあります。また、斑鳩中学校においても屋根・屋上がD判定の建物があり、改修が必要な状況です。あわせて、内部仕上や電気設備、機械設備についても、経年劣化による機能低下が懸念されます。

斑鳩西小学校および斑鳩東小学校においても、屋根・屋上や外壁にD判定の建物があり、安全確保の観点から早急な対応が必要です。また、斑鳩南中学校においても、設備類については経年劣化による機能低下が懸念されるため、更新が必要な状況です。

これらの調査結果より、今後の対策として、D判定が確認されている屋根・屋上および外壁については、安全確保を最優先に対応する必要があります。斑鳩小学校および斑鳩中学校は、築年数や劣化状況を踏まえ、優先度の高い施設として位置づけ、計画的に改修等を進めていくことが必要です。あわせて、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩南中学校の3校についても、計画的に取り組む必要があります。

● 主な劣化状況

斑鳩小学校 【屋根・屋上】 排水不良、変質	斑鳩小学校 【屋根・屋上】 防水シート剥がれ	斑鳩小学校 【外壁】 剥離、爆裂破損
		
斑鳩中学校 【屋根・屋上】 変質	斑鳩中学校 【外壁】 爆裂破損	斑鳩中学校 【内部仕上】 漏水痕
		
斑鳩西小学校 【外壁】 爆裂破損	斑鳩東小学校 【屋根・屋上】 排水不良	斑鳩南中学校 【内部仕上】 割れ・剥がれ
		

第4章 施設整備の基本的な方針等

(1) 整備計画等の方針

町内の学校施設は、老朽化が進行しており、安全性や機能の低下が懸念されることから、老朽化が著しい施設については、児童・生徒の安心・安全を最優先に確保するため、早急かつ計画的な改修を実施することが重要となります。あわせて、改修後も定期的な点検と計画的な修繕により、施設の健全な状態を維持する必要があります。さらに、施設の改修等に当たっては、世界遺産（文化遺産）を有する本町の特徴を踏まえ、木材の積極的な活用を推進します。また、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持つことができるよう留意しながら、児童・生徒が安心して快適に利用できる教育環境を確保し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ります。

(2) 改修等の基本的な方針

①長寿命化と予防保全の方針

- 児童・生徒の安心・安全の確保を最優先とし、耐久性の向上や老朽化した設備の更新を進めるとともに、地域の活動拠点や指定緊急避難場所として、誰もが安心して利用できる施設の維持を目指します。
- 施設を長期にわたり利用するため、劣化等の不具合発生後に対応する事後保全型の維持管理から、日常的な点検と軽微な段階での改修を行う予防保全型の維持管理へ転換し、施設の機能・性能を維持するとともに、突発的な事故や費用の発生を抑制し、被害リスクの軽減を図ります。

②目標使用年数と改修周期の設定

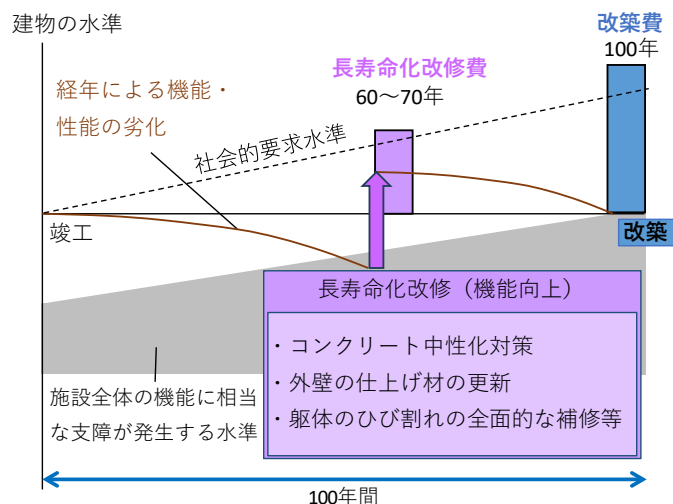
●目標使用年数

「100年」を目指します。

●改修周期の設定（RC造・S造）

長寿命化改修：築60～70年

改築：築100年



第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

改修等の実施は、構造部材や設備の更新により建物の耐久性を高めるとともに、現在の要求水準や避難所としての役割も担うことを踏まえ、誰もが利用しやすい施設環境の整備を目指します。

(2) 維持管理の項目・手法等

①日常点検

施設管理職員による日常的な点検を実施し、異常や軽微な損傷を早期に発見・対応することで、利用者の安心・安全を確保します。

②法定点検・自主点検

建築基準法等に基づく有資格者による法定点検および自主点検を定期的の実施し、施設の安全性と構造・設備の健全性を継続的に確保します。

第6章 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

①改修工事に向けた事前検討

改修工事の実施にあたり、基本計画を策定し、改修の方向性や想定される改修内容および概算事業費を整理します。その後、基本計画を踏まえた基本設計を作成します。あわせて、耐力度調査を実施し、構造躯体の劣化状況や耐震性能等を把握したうえで、長寿命化改修に適しているかを判断します。長寿命化改修に適していると判断した場合は、改修内容の具体化を進めますが、構造的な安全性の確保が困難な場合には、改築等の他の整備手法について検討します。

②改修等の優先順位

実施計画の策定にあたっては、築年数、劣化状況調査の結果等を総合的に勘案し、長寿命化改修の優先順位を設定します。特に、老朽化の進行による劣化状況を重視し、建物の安全性に直結する部位を重点的に改修する計画とします。また、教育活動への影響を最小限に抑えるため、学校全体を一体的に捉えた計画とします。なお、上位計画の見直しや緊急性の高い損傷が発見され、速やかな対応が求められる場合など、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

③令和8年度～令和25年度の実実施計画

【小学校】

		R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041	R24 2042	R25 2043
斑鳩 小学校	長 寿 命 化	基本計画																	
		基本・実施設計																	
		改修																	
		築年数	[60]	[61]	[62]	[63]	[64]	[65]	[66]	[67]	[68]	[69]	[70]	[71]	[72]	[73]	[74]	[75]	[76]
斑鳩西 小学校	長 寿 命 化	基本計画																	
		基本・実施設計																	
		改修																	
		築年数	[49]	[50]	[51]	[52]	[53]	[54]	[55]	[56]	[57]	[58]	[59]	[60]	[61]	[62]	[63]	[64]	[65]
斑鳩東 小学校	長 寿 命 化	基本計画																	
		基本・実施設計																	
		改修																	
		築年数	[46]	[47]	[48]	[49]	[50]	[51]	[52]	[53]	[54]	[55]	[56]	[57]	[58]	[59]	[60]	[61]	[62]

【中学校】

		R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041	R24 2042	R25 2043	
斑鳩 中学校	長 寿 命 化	基本計画																		
		基本・実施設計																		
		改修																		
		築年数	[56]	[57]	[58]	[59]	[60]	[61]	[62]	[63]	[64]	[65]	[66]	[67]	[68]	[69]	[70]	[71]	[72]	[73]
斑鳩南 中学校	長 寿 命 化	基本計画																		
		基本・実施設計																		
		改修																		
		築年数	[43]	[44]	[45]	[46]	[47]	[48]	[49]	[50]	[51]	[52]	[53]	[54]	[55]	[56]	[57]	[58]	[59]	[60]

(2) 従来型と長寿命化型の維持・更新コストの見通し

①従来型の維持・更新コストの見通し

従来型の整備手法は、不具合が生じた際に部分的な補修のみを行い、機能・性能の向上への対応はほとんど実施せず、改築を中心とした手法となります。本計画期間（30年間）における従来型での維持・更新コストの総額は、約 214.1 億円となります。

[千円]

	令和8年度 ～令和12年度	令和13年度 ～令和17年度	令和18年度 ～令和22年度	令和23年度 ～令和27年度	令和28年度 ～令和32年度	令和33年度 ～令和37年度	合計
改築費	5,013,098	3,143,689	5,909,905	3,952,110	581,722	0	18,600,524
維持管理費	468,333	468,333	468,333	468,333	468,333	468,333	2,809,998
総額	5,481,431	3,612,022	6,378,238	4,420,443	1,050,055	468,333	21,410,522

②長寿命化型の維持・更新コストの見通し

長寿命化型の整備手法は、老朽化・劣化等の大きな不具合が生じる前の軽微な段階にて、予防的な修繕等を実施することにより、機能・性能の保持を図り、長期的に施設を使用する手法になります。本計画期間（30年間）における長寿命化型での維持・更新コストの総額は、約 158.3 億円となります。

[千円]

	令和8年度 ～令和12年度	令和13年度 ～令和17年度	令和18年度 ～令和22年度	令和23年度 ～令和27年度	令和28年度 ～令和32年度	令和33年度 ～令和37年度	合計
長寿命化改修費	1,489,426	5,300,854	4,810,126	1,419,961	0	0	13,020,367
維持管理費	468,333	468,333	468,333	468,333	468,333	468,333	2,809,998
総額	1,957,759	5,769,187	5,278,459	1,888,294	468,333	468,333	15,830,365

(3) 長寿命化による効果

本計画期間（30年間）の維持・更新コストを試算した結果、従来型の場合は約 214.1 億円（年間平均 7.1 億円）となるのに対し、長寿命化型では約 158.3 億円（年間平均 5.3 億円）であり、約 55.8 億円（年間平均 1.8 億円）のコスト縮減効果が見込まれます。

◆従来型

[億円]

	計画期間（30年間） における費用	1年あたりの費用
改築費	186.0	6.2
維持管理費	28.1	0.9
総額	214.1	7.1

◆長寿命化型

[億円]

	計画期間（30年間） における費用	1年あたりの費用
長寿命化改修費	130.2	4.4
維持管理費	28.1	0.9
総額	158.3	5.3

総額 55.8 億円の縮減効果

年間平均 1.8 億円の縮減効果

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

①フォローアップの実施

学校施設の運営管理は、PDCA サイクルに基づき計画・実行・評価・改善を継続的に行い、安全で快適な教育環境の維持・向上を図ります。また、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえ見直しを行います。

②情報基盤の整備と活用

学校施設に関する基礎情報や点検結果、修繕履歴等を一元的に管理・共有し、維持管理の効率化を図るとともに、蓄積した情報を継続的に更新・把握することで、修繕や改修計画、予算配分等の判断に活用します。

③推進体制等の整備

学校施設の所管部署を中心に関係部署が連携する推進体制を構築し、情報や課題を共有するとともに、全庁的な共通認識のもとで、実現性の高い施設整備を進めます。